

# 「轍」

(わだち) 4号



## ★あと少しで「学校」が始まります★

長い休校が続いておりますが、お子様は生活リズムを乱すことなく自宅で元気に過ごしているでしょうか。生徒の皆さんは自分の力で起きて規則正しい毎日を送っていますか？夢と希望に満ち楽しく中学校生活が始まったと同時に4月の休校、生活に慣れてきたところに2回目の休校、そろそろ学校で友達に会いたいと思ったら5月の休校延長で大変でしたね。保護者の皆様、休みが長く学校生活が極端に短かったので、学校が始まると体力気力が続かないことが予想されます。学校が始まるまでに心身の健康管理をおこなっていただき、お子様が元気に登校できるようご協力お願いいたします。



### ●今週の深い話●

北海道新聞からの記事である。バスケットの神様と呼ばれている「マイケル・ジョーダン」について書いている。彼の基本に対する考えである。どんなに基本が重要か、それをしっかりと書いている。

## 「一瞬でも基本を忘れたら、根本から崩れさってしまうだろう」

マイケル・ジョーダン

ぼくがNBAで試合をしていたとき、もっとも重要だったのは「基本」という要素だ。ぼくが試合でみせたあらゆるプレイも、ゴールを決めたあらゆるシュートも、すべて「基本」に対するぼくの考えと「基本」をしっかりと身につけるための努力に裏付けされている。

基本は、ビルを建てるときの土台であり、万物を動かしている原理でもある。人が何かをしようとして、あるいは何かに向かっていようと、ぼくには関係がない。

しかし、何事においても、基本を無視してベストになることはできない。素晴らしい能力を持った人は大勢いるが、その人が自分の能力の活かし方を知らなければ、果たして偉大な人物といえるだろうか？

たとえば、ジムに通い誰よりも高くジャンプできる能力を身につけた人がいたとしよう。はたしてこの人は、ダンクシュートができない状況でも、ジャンプの能力だけで得点を上げることができるだろうか。

あるいは、テストに備えて本を丸ごと一冊暗記できた人がいたとしよう。はたしてこの人は、本から何かを学んだといえるのだろうか。

しかし、中には基本をないがしろにする人もいる。こうした人たちは、手っ取り早く満足感を得たいがために、いくつかのステップを省いてしまう。試合ではそれほど必要がないからという理由で、ボールの扱い方を練習し

ない人もいるだろう。あるいは、身長があるから得点を上げられるとあって、正しいシュートのテクニックを磨かない人もいるだろう。初歩の段階なら、こうした考え方でも通用するかもしれない。しかし、やがて基本をないがしろにした報いが必ずやってくる断言できる。

基本を無視する態度は、まるで楽譜を読めない人が、躍起になって傑作を作曲しようとするものだ。何かを達成するために、その基本を無視することは絶対にできない。一瞬でも基本を忘れたら、根本から崩れさってしまう。スポーツにおける正しい技術、会社における倫理、心構えといった基本を忘れたら、試合に勝てないし、会社や学校で成績を上げることもできない。

NBAを例に挙げてみよう。リーグには、能力はあるのに一流になれないプレイヤーが大勢いる。どうしてだろう？理由は簡単だ。一流選手に必要な基本を身につけていないからだ。大学では先発のレギュラーメンバーとして活躍していた大男たちが、NBAではベンチに座っているだけだ。ある程度のレベルまでは身長や体力で活躍することもできるが、プロという究極のレベルになると、身長や体力だけでは通用しない。その時になって気づいても、遅すぎる。

ぼくがノースカロライナ大学のチームにいたとき、多くの人がディーン・スミス監督はぼくの能力を引き出していないと言った。「マイケル・ジョーダンに、一試合20ポイントしか得点を上げさせなかったのはスミス監督だけだ」と、みんながからかったものだ。

しかし、彼はぼくに試合のやり方を教えてくれた。彼は基本の重要性と、基本をどうやってぼくの持っている技術に活かせるかを教えてくれた。彼の教えのおかげで、ぼくは一流選手になれた。NBAに入って、ぼくは大学とは違ったことをいろいろと学ばなければならなかったが、シュートであれ、ディフェンスであれ、基本を身につけていたので、NBAの技術を難なく会得することができた。新しいことにぶつかっても、基本を身につけていたので、全て理解することができた。

ラリー・バートが偉大なプレイヤーになれたのも、基本がしっかりしていたからだ。彼は基本をマスターすることによって肉体的に不利な条件を克服した選手だ。このことは言葉で説明するのは簡単だが、実際に行うのはむずかしい。実行するためには、常に自分で基本をチェックしていなければならない。なぜなら、変化が生じるのは基本に対するプレイヤーの注意力であって、基本自体は変化しないからだ。

わかりやすい格言を紹介しておこう。何事をなすにも、正しい方法と間違っただけの方法とがあるという格言だ。たとえば、毎日8時間シュートの練習をしたとしよう。もし、この場合、間違っただけの方法で練習を続けていたとしたら、間違っただけの方法でシュートする名人になれるだけだ。常に基本を出発点とすること。そうすれば、どんなことでも必ずレベルを上げることができる。

今は焦らないこと、慌てないこと。できることをしっかりやる、小学校の復習でも良い、中学校の教科書を眺めてもいい。とにかく「基本」を繰り返すことだ。

<例えば…>

- 九九はいえますか？ もちろん、スラスラとできますか？
- 分数の計算はできますか？
- 小数はどうでしょう。
- 漢字を書くことができますか。6年生までの漢字はかなり量がありますよ。正確に読み書きを。